

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 平成 28 年 9 月 26 日（月） 午前 10 時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 古川 洋一 副委員長 筒井かよ子

委員 大和田和男 委員 富山 豪

〃 萩谷 俊行 〃 君嶋 寿男

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 中崎 政長 事務局長 深谷 忍

事務局次長 寺山 修一 次長補佐 横山 明子

会議に付した事件と結果概要

付託案件

(1) 調査事項について

結果：「子育て支援」について調査を継続し、今後、市内子育て支援施設の視察を行うことを決定

(2) 議会報告会で報告する案件について

結果：報告案件 5 件を決定

議事の経過概要（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前 9 時 59 分）

委員長 皆様おはようございます。

きょうはご多用のところご参集いただきましてありがとうございます。

いろいろなところでいろいろな行事、このシーズン、皆さんも忙しいことと思いますけれども、私が今してますこの缶バッジは、県北芸術祭のものをある方からいただいてきたので、皆さんのボックスに一個一個入れてありますから、緑と青があつてどちらかになってますけど、ぜひ、今開催期間中ですから、これも含めて、皆さんで盛り上げていただきたいなというふうに思います。

きょうは教育厚生常任委員会でございます。慎重審議よろしくお願い申し上げましてごあいさつにかえさせていただきます。よろしくお願ひします。

それではご連絡いたします。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。

また会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言は必ずマイクを使用し、質疑答弁の際は、簡潔かつ明瞭をお願いいたします。

携帯電話をお持ちの方は電源をお切りいただきますか、マナーモードにしてください

いと思います。

ただいまの出席委員は6名であります。欠席委員はおりません。

定足数に達しておりますので、これより教育厚生常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりごあいさつをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

議長 改めましておはようございます。

古川委員長のもと、休会中のところ、教育厚生常任委員会を開会していただきましてありがとうございます。

会議事件は二つとなっておりますようですけども、慎重なるご審議をお願いしまして、ごあいさついたします。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。

それではこれより議事に入ります。

まず1番、調査事項についてを議題といたします。

定例会中にも皆様にお話しいたしましたとおり、調査事項の子育て支援について、視察を行いましたけれども、その視察の感想や、今後どのように進めていくかなどを皆さんと意見交換をしながら、本日まとめていきたいと思っております。

視察の内容については、事務局のほうでまとめていただいた資料を皆さんきょうお持ちでしょうか。なければ、お申し出ください。

つくば市、厚木市そして厚生労働省の職員の方からいろいろお話を聞いてまいりましたけれども、これを皆さん読んでいただいているかと思えますし、実際に見てきたわけですから、それなりの感想やら、意見、または那珂市において今後どうすべきか、どうしてほしいか。そういったところのお考えがあらうかと思っておりますので、ぜひきょうはその辺をまず、出していただいて、そしてまとめていきたいなというふうに思っております。

この資料のどの部分がどうだったこうだったって一件一件やっていくと、お時間もありませんので、それぞれ一つでも二つでも構いませんので、非常に勉強になったとか、今後那珂市でこうしたい、取り入れたいなんていうものがあつたらですね、主なもので結構ですので、全員からお話いただきたいというふうに思っておりますので、お話がまとまりそうな方からで結構なので、ぜひ挙手の上、発表をしていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

一回でまとめなくてもいいですから、一つ言って、ほかの方の話を聞いて、これもやっぱり思い出したとかっていうのは、後からまた追加しても構いませんので、大和田委員からお願いします。

大和田委員 こないだの研修視察なんですけども、那珂市にどんなことを持ち帰れるかという観点で視察をしていきたくわけなんですけども、つくば市、厚木市さすがに人口規模も違いますし、できることを、全部が全部できるという感じではないと思ったんですけども、子

育て支援というところで、つくばの子育て支援センターですとか、厚木のアミューあつぎ、そういったところは那珂市に置きかえるとどういったところがあるかなと考えると、やっぱりつぼみですとか、ひだまりあたりを拠点にして、何かできることはないかなと考えまして、また、全部行政でできるかっていうとちょっと難しいところがあるので、つくばでもそうですし、指定管理者等を利活用して、ひだまり、つぼみあたりも少し考えていかなければならないのかなと考えました。

また那珂市では、幼稚園が1カ所になるということで、今後バスの話が出てくると思うんですけど、厚木はどちらかというところから各地域にバスが運行していくという感じでしたね、アミューに人を集めて。那珂市は、どちらかというところから中心地に集めるという形になってくるので、今後どんなふうにしていけばいいのかなというのがちょっと疑問であり、今後の課題ではないかなと考えました。

またつくばの病児保育というのも、ちょっと公立ではちょっと、なかなか難しいところ、目配り気配りあたりのところが難しいのかなと思うので、今実際にある大きな保育園、大成のこども園とか、そういったところに依頼とか、一緒に研究して行ってその病児保育のほうを進めていけばいいのかなと考えました。まずはそれですね。以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

今つぼみとか、ひだまりとかを那珂市では拠点にしてっていうお話ありましたけど、具体的に視察をして、これをつぼみとかそういうところでやってほしいとかっていう、何か具体的なものはありますか。

大和田委員 あれもこれもいいところばかりで、まだまだ那珂市が及ぶところではないというのは、実際の感想でして、なので、本当にその指定管理じゃないですけど、そういった専門の方と一緒に進めて行って、そこで、どこまでできるかっていうのを進めていかなければならないのかなと感じました。

委員長 あれもこれもやってほしいということですけど、先ほどから、大和田委員からお話がありましたように、なかなか難しい部分もあるだろうと。

予算的なものもあるでしょうし、だから、これだけはやってほしいとかね、そういうものがあれば、頭の中でちょっと整理しておいていただけないかなと思います。ありがとうございました。

ほかにございますでしょうか。

富山委員 私もこないだの厚生労働省のほうで、質問させていただきましたが、やはり医学部とか、やっぱりそういう学部に行くのにはちょっとお金がかかり過ぎるっていう問題、これ国のほうでも何とかしたいとは思ってるみたいですが、多分、もう少し時間がかかっていくのかなっていうのは感じました。こないだの回答を聞いて。

これは市としてやっていくのは大変難しいかもしれませんが、何かやっぱり、そういう医学を目指す子供たちに奨学金の部分で幾らかでも、市のほうで、そういうのになりたい

と志す子供たちに出してあげられるような、独自の制度なり何がしかがあればいいなっていうのは本当に思いました。

正直お金を持っている家庭以外はもう医学の道を志すことはちょっと難しいのかなと。やっぱり普通の、一生懸命勉強している子供たちが医学というお金がかかる道を志したときに、サポートできる何かそういう那珂市であって欲しいなっていうのは、心に強く感じた次第なので、ここでちょっと言わせていただきました。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。君嶋委員どうでしょうか。

君嶋委員 二点、ちょっと感じたことを述べさせていただきますけども、一つは、厚木市でのあつぎ健康相談ダイヤル24、24時間体制の事業を行っているということで、これに対しては、どこの市町村でもやはり必要かなっていう感じはいたしました。

その中で特に今回、那珂市においても、これは水戸、広域っていうか、そういう感じで医療体制連絡、土曜、日曜とか、そういう面でも、あと深夜でもそういう体制が整いつつあるということが後から報告は受けましたので、そういうものをこれから市民にも伝えていくべきかなということで、やはりだれも、ちょっと前回副委員長の筒井議員からも話があったように、ひたちなかの日製水戸病院のわきには、具合が悪くなれば診てくれるようなところもありますといっても、まだまだそういうのも市民にもちょっとPR不足っていうか、知れ渡ってないところもあるので、そういうのも含めて、これからの医療体制に対しても、那珂市もこういう形で、近隣との連携を取ってますっていうのを、ちょっとこれからの報告の中で伝えていただければいいかなということを感じさせていただきました。

あともう一点が、つくばでの病児保育、民間で行ってますけれども、視察に行ったときに自分の市はどうかなっていうことで一緒に考えながら、視察させていただいて、その中ではやはり那珂市は、保育所ではなく、民間の病院ですね、小児科医で病児保育をやっていただいていると。これも先進っていうかね、少し進んでるのかなって。

それはほかではないことを小児科の病院が、病児保育をやっているところがあるということ、ちょっとそういうのも、那珂市もそういうのは進んできてるかなっていうのは感じさせていただきました。

ただ、先ほど大和田委員も言っていましたように、これから公立ではなくて私立の保育園、幼稚園なんかでも、そういうものも少しずつ、看護師を入れたりして、いざ病気になった場合の対応とか、そういうのもしてきている保育園も、ちらちら聞こえてはきてますので、そういう体制をこれから、市のほうからも、各民間の保育園、幼稚園にも投げかけながら、そういう体制をとっていただければ、安心して子供を預けながら、親御さんは仕事もできるというような環境になるかなと思います。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

最初にお話しされた案件については、ないものを作れ作れっていう、そういう要望も一つですけども、あるものがきちんと周知されていない、市民が知らない、そういったところも大きな問題だと思うんですね。ですからその辺を周知した上で、そういうのが使えるんだということをやはり市民にも知らせるべきかなっていうのは私も思います。

ありがとうございました。

萩谷委員、どうでしょうか。

萩谷委員 皆さんがお話したとおり、なかなか取り入れてもらうことは難しいのはあるかもしれませんが、その中でね、一番これから提言できるのはこれかなって思ってるのは、幼稚園ですね。幼稚園に7時半前後から夕方6時半前後ぐらいまで預かりをやっていると。那珂市だって今度3年後ですか、1園になるわけですね。

その場合やっぱり長時間、幼稚園に預けられるということによって、それでお母さんたちも働ける状況ができるし、これだったらね、まず教育厚生の中では、執行部にぜひとも保育所並みの、それ以上でもいいんですが、長時間預け入れができるような体制を、これは実現可能かなと私は思ってますので、こういうのを少し提言しながらいくのも一つの案かなと思いますね。

全体的には、先ほど話が出てましたけど、規模が違いますよね。那珂市と人口が、あまりにも。そういう面で、副委員長ともちらっと車中話をしたことがありますが、なかなか難しい部分があるかもしれませんが、那珂市で取れる部分を教育厚生として、提言すると。実現に向けてね、それにはこの長時間保育は、可能性があると思ってるんですね。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

副委員長いかがでしょうか。

副委員長 もう先ほどもお話がありましたけども、やっぱり市の規模が違うなというのがまず一番感じました。つくばにしる厚木にしる、市の規模が違うので、その保育に対する体制も大分広範囲にわたってきめ細やかに行われているというのを感じました。

その中で、やっぱり今お話がありましたように、私視察に行く前に、病児保育については大変興味がありまして、その点をつくばのほうで見てまいりましたけども、やっぱりこれは、那珂市でも今一つだけの病院で病児保育をやってますけども、もう少し市のほうで考えて、普通の保育所に病児保育の部分も併設できるようになればいいのかなという思いがあります。

それと、今萩谷委員は長時間の預かりというお話をされましたけど、厚木のほうで短時間の預かりっていうのをされたんですね。お仕事されてる方は常時預けますけど、おうちにいる方でも、ちょっときょうは病院に行くから預けたい、用事があるから預けたいっていうときに、お子さんを預かっただけのような短時間の預かり保育というのが、那珂市ではちょっとまだないかなと思いますので、これも必要なのではないかと考えておりま

す。

つくばと厚木と両方ともやはり拠点となる部分がかなり大きくしっかりしているので、那珂市でもそれも、同じようにしようと思ってもなかなか難しい点はありますけども、移動保育とか、お母さん方、お父さん方に向けた講座とか、そういうのもこれから少しずつ考えていったらいいと思いました。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

大和田委員 先ほどの追加なんですけど、筒井委員からの話で、短時間というのはお母さんにとってすごく重要ではないかなと。あとまたその移動のね、子育てサロンみたいなのが那珂市であれば、例えばふれセンですとか、そういったところ、拠点がひだまりとかそういうのがしっかりして、そのあとふれセンですとか、コミセンですとか、そういったところで地域交流センターでもそうですけども、そういったところで移動サロンなんかもできるのではないかなと。そこら辺も今後バックアップしていけたら、行政のほうでできたらいいかなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

ほかの方ありますか、追加で。もし議長も何かありましたら、ぜひお願いします。

富山委員 今の子育てサロンとかアミューとか、つくばの子育て支援センターなんかもそうだったんですが、何かこう、私の感覚なんですけど、入りやすいとか行きやすい、お母さんたちが集まりやすいっていう、とにかくそういう雰囲気は感じましたね。塀が高くないとか、おしゃれであるというのが一番大きい印象を受けたんですけど、ここで子育て支援のセンターなんだって。

ちょっとしたテーマパークのようなイメージが強くて、今後いろいろやり方の課題になってくると思うんですけど、もうちょっとこう、形にとらわれないような、もう少しやわらかいイメージっていうのが人を集まりやすい雰囲気作るっていうのが大事なのかなんていうのは、本当に感じました、それは。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

副委員長 この子育てに関するいろんな施策をするときに、もしかしたら年齢の高い方だけが集まって、いろいろ相談されている傾向が、もしかしたらあるかもしれない。やっぱり若い人たちが一緒になってもう本当に子育て中の方たちが意見を言って、一緒に進めていけるような体制をとってほしいなと思います。

副委員長 はい、ありがとうございます。

いろんな意見が出ておりますけども、また後で皆さん思いついたらまた言っていただいているんですが、とりあえずきょうは、今後のことも含めて考えたいんですけども、こ

の視察の内容をまとめて、まとめるというのはただ単に感想とかそういうまとめじゃなくて、那珂市においてどうすべきかとかそういう部分で要望書を出すのか、そういうのも含めて考えていくわけですけど、今後例えば子育て支援について継続して調査事項として、継続していくのであれば、今ここで要望を出さなくても、あと半年なら半年やって最終的にこの今回の視察の部分も含めて、まとめて要望しましょうっていうのもありだと思うんですね。

だから、そういった今後のことも含めて、もし皆さんのほうから何かご意見があれば。

それとも、今回は今回でまとめて、要望で出しちゃって、また次の調査事件で別なことやりましょうよっていうんだったら、それはそれでいいと思うんですけど。その辺についてはどうでしょう。

もう視察とかで皆さん大体子育て支援を勉強できたというようなお考えなのか、いやまだまだ足りないぞと。もうちょっと勉強したいなと、例えば視察も行きたいなというようなことがあればね、それもありだと思うんですけども、その辺について何かあれば、ぜひ。

君嶋委員 視察はしてきました。でも那珂市内の現状をもっと知るべきかなと思うんで、私はここで終わりにするんじゃないなくて、今度は自分の市の現状、状況をもっと知りたいと思いますので、継続で調査していくべきかなと思いますね。

以上です。

委員長 今回の視察を受けての要望ですとかは、まだ今まとめる必要ないんじゃないかっていうことでしょうか、またさらに勉強を深めて、最終的に一本にして出したほうがいいのかということでしょうかね。

君嶋委員 やはり現状を見て、それでちょっと足りないところとか、ここをこう改善してもらいたいなっていうのを感じてから出すべきかと思いますので、それからでいいかと思います。

委員長 はい、皆さんからお話があったように、あれはよかったからぜひ那珂市でっていう単純なものではないのでね、もう少し勉強して、今君嶋委員からも話がありましたとおり、那珂市内の現状だとか、あといろんな資料を、いろんなところ先進の事例をもう一回調べるとかね、そういったことも必要なのかなというふうに思いますが、今回のこの視察については、とりあえずこういうところ見てきました、今資料としてありますように、見てきました、聞いてきました、そしてこういう感想を持ちました。現状では那珂市ではこういうところに活かせるんじゃないかというようなところまでまとめておいて、最終的な要望という形で出すときには、今後調査をして、最終的なものとして出すっていうような方向で、よろしいですかね。

じゃ、子育て支援についてという部分については継続調査ということでよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 ではそのような形で今後継続して進めていきたいと思いますので、よろしくお願

たします。

今皆さんから出たような部分を少しこの研修の内容に加えて、とりあえず作ってまとめておけばよろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 わかりました。そのような形で残しておきたいと思います。

暫時休憩します。

(休憩 午前10時21分)

(再開 午前10時22分)

委員長 再開します。

それでは先ほど皆さんから出た、今後調査を継続していくということですけど、皆さんのほうで、もう一回どこか見てきたいとか、例えば先ほど私立の保育所とかそういうところでも病児保育をできないかというのがありましたから、そういう保育園さんの意見を聞くとかというものもありだと思えますし、つぼみさんだとか、そういったところで実際に具体的にどういう状況で、どんなことをやってるのかって、皆さん把握してるかどうかわかりませんが、そういうこともきちんと見てこない、いいと思ってぜひやってほしいと思ってたけど、もう既にやってますみたいな部分があってもいけませんので、何かそういった特別に見てきたい、聞いていきたいというふうなところありますか、さらにはどこかまた視察に行きたいとか。

大和田委員 そう考えるとまさしくその市内の、大成さんですとか、つぼみさん、ひだまりさんのね、実際の業務のところですか、またその利用者の声とかも含めて一緒に視察というか、まわれたらいいかなと思います。

委員長 富山委員どうでしょうか。

富山委員 私も同じ意見です。市内で近いので、資料で出してもらうのも、資料は出してもらいたいんですけど、やっぱりじかに行って、どんなことがそこでできてるのかっていうのをやっぱり職員の皆さんとかと話をしたりしながら、今の那珂市の現状っていうのを。

萩谷委員 先ほど大和田委員から出ましたけども、経営する人ばかりでなく、預けてる親御さん、親がどういう反応をしているか、満足してるのかまた不満なこととか、そういうのを聞くのも、一番いいのかなと思いますよね。

そして今那珂市だったらば、一日に何カ所も歩けるでしょう。3か所ぐらいでもね。それでもいいんじゃないんですか。一日かけたっていいし。やるときは。

委員長 具体的にどこ行きたいってありますか。いろんなところですよ。

また休会中に、12月定例会前に、早目に行っておきますか。保育園さんだったり、つぼみさんだったり。

大和田委員 あとよく言うのは、公営と民間の差みたいなのところも、結構子育ての人は、気にしているようなので、そういったところ、民間の現状と公営の現状というのをちょっと合

わせて見たいなと思います。

委員長 はい、ありがとうございます。

何カ所も行こうと思えば、例えば半日あればもう何カ所も行けるでしょうし、相手方のもちろんご都合もあるでしょうから、その辺をちょっと詰めて、日程は定例会前に行くということで日程調整、こちらほうでさせていただくということによろしいですか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 ではそのような形で当たってみますので、また皆さんにこういうところというのがありましたらご相談させていただきますし、皆さんのほうから何かありましたらぜひお願いいたします。

続きまして、次の議題に入りたいと思います。

議会報告会での報告案件についてを議題といたします。

10月の22、23日に開催されます議会報告会について、教育厚生常任委員会の報告内容を決めたいと思いますのでよろしくお願いします。

本日ですね、副委員長のほうでまとめてくださった、資料、表裏で印刷したものがお手元にあるかと思いますが、それについて、副委員長のほうからちょっとご説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

副委員長 はい、では説明させていただきます。

報告会について何を報告会に載せるかということは、これから皆さんと一緒にご相談したいと思いますが、原案としまして、私が一応このような形でまとめてみました。

どう説明すればいいのでしょうか、これは。

読んでいただいて、もっとこのほかにもあるんじゃないかとか、こういうのはやめたほうがいいんじゃないかとか、もしございましたらそれは今から皆さんで、協議したいと思いますので、一応目を通していただければと思います。誤字脱字があるかもしれませんが、一応読んでいただいて、感想をお願いいたします。

よろしくお願いいたします、委員長。

委員長 はい、ありがとうございます。

まず、各委員会の持ち時間は約5、6分ということですから、例えばこれを全部読んでも、5分では多分読み切れないと思うんで、いずれにしても内容的にはこの1枚分ぐらいしか、多分説明はできないかと思うんで、文章できちんと書いていただきましたけども、仮にこれを報告する場合であっても多少ね、話は絞ってお話をするようになります。

あと、今副委員長からお話ございましたとおり、今思いつくところをつくっていただきましたけども、あの件は報告しておいたほうがいいんじゃないとか、これは逆に手持ちの資料として持っててね、何か質問があったら、お答えができるような部分にしておいてもいいんじゃないとかいうのがもしあれば、ぜひ皆様のほうからご意見をいただきたいんですけども。

いずれにしても、9月定例会だけの報告ではなくて、極端な話、昨年報告会をやってますから、その後のっていう考えでもいいと思いますし、大きくここが変わりましたよという部分は、きちんと先ほどの市民に周知するという部分でもですね、お知らせをしておいてもいいと思うんで、単なるその予算がどうの、決算がどうのということではなくてね、大きく変わったところについての報告はきちんとすべきだと私は思いますけども、どうでしょうか、皆さんちょっと今ざっと見ていただいていると思いますけれども。

あとここにありますとおり、視察の内容もね、こんなところを見てきました、こんなことを感じましたと。さらに今後継続して調査をしていきますといったような部分もね、報告しておいてもいいのかなというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

では、きちんと目を通していただくのに、暫時休憩いたします。

(休憩 午前10時31分)

(再開 午前10時36分)

委員長 それでは再開いたします。

議会報告会の内容について何かご意見がありましたらお願いいたします。

萩谷委員 あのですね、見させていただいたわけですがけれども、1から4は、議会だよりなんかに出てくると思うので、そういうことで、これはそのように報告しておいて、もう一つはここに期日を、いつから実施しますなんかも入れて1から4をやっけてあげて、5からの教育厚生としての活動ですか、視察に行った、こういうのをある程度皆さんにこういう視察をしてきました、先ほど言ったように、これからまた別な、那珂市のほうも視察しながら、勉強していきたいということとかを入れたほうが私はいいと思います。

これは私の独自の考えですけど。そのほうが、議会報告会として仰々しくなく、逆に近いのかなと思うんですね。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますか。

当日は各委員会で一枚の紙にして、配付資料がございますので、その中には、いついつからこうなりますよとここで書いて、この資料でいえば1番から4番、こういったものを書いておいて、それに対する質問とかも当然あるかもしれませんし、あとその報告の部分については、メインは視察の、こんなこと見てきました、こんなこと感じました。

今後このようにしたいと思いますっていうような報告をさせていただく。

当然それに対する質問も、報告の後に市民の方々との意見交換の時間がありますから、その中で、さっきこういう報告されたけども、ぜひこういうことも子育て支援の中で考えてくれよみたいな意見があるかもしれませんので、その辺も踏まえて、これからの調査に活かしていきたいというような答えもあるかと思うので、じゃ、資料としては、こうなります、ああなりますという部分と、あとは視察もこういうところに行ったっていうね、厚

木市とつくば市と厚生労働省とってというのだけ紙に書いておいて、あと報告は、口頭でさせていただくというような感じにまとめるということで、どうでしょうかね。

よろしいですかね。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 じゃ、そのような形で少し文章をまとめさせていただいて、後で皆さんのほうにまた、お見せできるとかと思うので、あと10月18日に全協とリハーサルがありますので、その時までに皆さんのほうにご提示できるようにしておきますので、よろしくをお願いします。

またお気づきの点がありました何か皆さんのほうから言っていただければと思います。

議会報告会の内容については、よろしいですか。

初日は筒井副委員長が、2日目は私のほうが説明をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

本日の議題は以上ですけれども、皆様から何かございましたら、お願いします。

特にないですか。

では、以上で、早いですけれども教育厚生常任委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

閉会（午前10時40分）

平成28年10月18日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 古川 洋一